

令和元年度第1回経営協議会報

総務部総務課

日 時 令和元年6月20日(木) 13:30~17:00

審議事項

(1) 平成30事業年度に係る業務の実績に関する報告書(案)について

越野副理事から、6月末に文部科学省(国立大学法人評価委員会)へ提出予定の平成30事業年度に係る業務の実績に関する報告書(案)について、資料に基づき提案説明があり、審議の結果、文言等の一部修正については学長一任とすることで了承された。

(2) 平成30年度決算(案)について

福治理事から、平成30年度決算(案)について、資料に基づき提案説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

(3) 令和2年度概算要求事項(案)について

福治理事から、令和2年度概算要求事項(案)について、本学が第3期中期目標期間の「ビジョン」及びその実現に向けた具体的な改革方針である4つの戦略を着実に推進する取組を要求することについて、資料に基づき提案説明があり、審議の結果、個別要求事項については学長一任とすることで了承された。なお、具体的な概算要求事項は令和元年度第2回経営協議会で報告することとされた。

また、これに関連して、学外委員から提案等があった。

(4) 役員の退職手当に係る業績勘案率について

福治理事から、役員の退職手当に係る業績勘案率の考え方について、資料に基づき説明があった。次いで、学長から、各役員の業績勘案率について提案説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

(5) 国立大学法人琉球大学学長選考会議委員の選出について

福治理事から、国立大学法人琉球大学学長選考会議規程第2条第1項第1号の規定に基づき、経営協議会委員8人を国立大学法人琉球大学学長選考会議委員として選出することについて、資料に基づき提案説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

報告事項

(1) 上原キャンパス移転の進捗状況について

福治理事から、上原キャンパスの移転整備に係る経緯及び沖縄県・宜野湾市並びに琉球大学による政府与党への三者要請について、資料に基づき説明があった。次いで、施設運営部長から、琉球大学医学部及び同附属病院移転整備基本設計の概要及び移転整備のスケジュール等について報告があった。

また、これに関連して、学外委員から提案等があった。

(2) 平成30年度卒業生の進路状況について

井上理事から、平成31年3月に卒業・修了した学部学生及び大学院生の進路状況について、資料に基づき報告があった。

(3) 連携協定等について

学長から、平成31年3月以降に締結した連携協定等について、資料に基づき報告があった。

懇談事項

(1) 琉球大学の現状と課題

学長から、琉球大学の教育・研究を担う各学部・研究科の現状を知っていただき、課題等について懇談を行いたい旨発言があり、次いで、次回の懇談テーマに予定している医学部、医学研究科及び保健学研究科を除く各学部長・研究科長から、各学部・研究科

の概要について説明を行い、意見交換を行った。
委員から以下のような発言があった。

- 工学部のグローバル・エンジニア（GE）プログラムは非常にいい取組だと思う。同志社大学にはスタンフォード大学の日本センターがあり、スタンフォード大学の工学部・工学研究科の学生が、グローバル・エンジニアになるために日本語や日本文化も学び、日本のグローバル企業に就職している。連携大学の中にこのような琉球大学のセンターを作ってもらうことも検討してみてもどうか。
- 製造業界からも、日本企業の海外展開に必要なグローバル人材育成の要望がある。沖縄には大きな製造業はないが、東南アジアや台湾、中国に近く、グローバル人材を育てやすい環境にあると思う。これだけ外国人留学生が多い研究科は少ない。日本の大きな企業等との連携を強めて、アジアの優秀な学生をグローバル人材に育てることで貢献できると思う。また、企業からの資金的な援助を得ながらプログラムを進めることも考えてはどうか。
- 法務研究科の説明で、学部3年プラス法科大学院2年の5年一貫コースは琉球大学では難しいとの説明だったが、学費面からも学生にとって1年の短縮は非常にメリットが大きい。他大学と連携して多くの学生を受け入れる検討もしてはどうか。
- 教育学部の志願者が減っており危機感を持っているとのことだが、沖縄県の教員採用試験の合格者の平均年齢が30歳前後と高いということも含めて、教員としての魅力が薄れているのか、また、大学にも別の問題があるのか等、どのように考えているか。また、他大学の志願者の状況はどうか。